

Lite-Puter

PX-1210

取扱説明書



株式会社サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡 1958
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は Lite-puter の PX-1210 をご購入いただき、誠に有難う御座います。

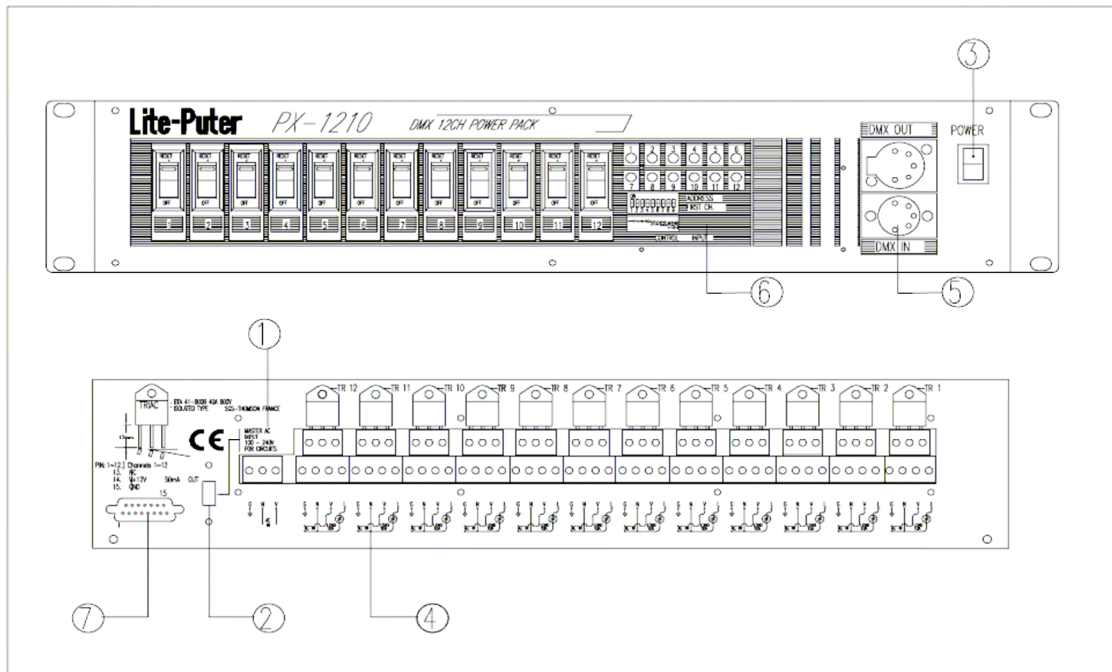
PX-1210 は DMX-512 に対応した 12 チャンネル仕様のパワーパックです。PX-1210 の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また不明な点が生じた場合に備え、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

安全上のご注意

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
- 電源ケーブルに異常がある場合は直ちに使用を停止して下さい。
- 電源ケーブルのアースピンを抜き取ったり、折ったりすることはお止め下さい。アースピンは本体内部回路がショートした際に感電の危険性を最小限に抑える役割をします。
- 本体と他の機器の接続を行う場合は必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
- どのような状況下においても本体カバーを絶対に開けないで下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用を中止して下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 必ず本体を安全で安定した環境に設置して下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 本製品に異常を感じた場合は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問合せ下さい。

基本仕様

- 各チャンネルから最大 10A まで出力可能
- DMX 信号、またはアナログ 0~10V DC 信号の受信が可能
- スイッチによる各チャンネルのオン/オフ設定
- 各チャンネルから異なる位相の電源を出力可能



電源への接続

1. 本体リアパネルの MASTER AC INPUT 端子に電源ケーブルを接続して下さい(図の①参照)。この際、それぞれのワイヤーが正しく結線されていることを確認して下さい。
2. 全てのワイヤーが正しく結線されていることを確認したら、リアパネルの VOLTAGE SELECT スイッチを 100V に調節して下さい(図の②参照)。尚、VOLTAGE SELECT スイッチの設定を間違えると本体が損傷する恐れがありますので十分気を付けて下さい。
3. 本体フロントパネルの電源スイッチをオンに切替えて下さい(図の③参照)。

PX-1210 への接続

1. PX-1210 の各チャンネルはそれぞれ最大 10A まで調節可能です。全てのチャンネルは別々に電源供給を行っておりますので、それぞれ独立して接続を行って下さい。また、接続する際に電源の位相は気にする必要はありません。
2. 接続に関する詳細は、本体図④を参照して下さい。

DMX 信号による本体の操作

1. DMX ケーブルを本体フロントパネルの DMX IN 端子に接続して下さい(図の⑤参照)。
2. フロントパネルの FIRST CH. ADDRESS スイッチを目的の DMX スタートアドレスに設定して下さい(図の⑥参照)。
3. DMX コントローラーを調節し、PX-1210 に DMX 信号を送信して下さい。選択されたチャンネルのデータが 50% 以上に設定されるとそのチャンネルはオンに切替わり、また 50% 以下だとオフに切替わります。

アナログ信号による本体の操作

1. リアパネルのアナログ端子に 15 ピン仕様の D-Sub アナログケーブルを接続して下さい(図の⑦参照)。
2. アナログコントローラーを調節して PX-1210 に入力する信号レベルを設定して下さい。選択されたチャンネルのデータが 2V 以上に設定されるとそのチャンネルはオンに切替わり、また 1V 以下だとオフに切替わります。

仕様

PX-1210	
使用電源:	AC100V、50/60Hz
電源出力:	各チャンネルから最大 10A 出力可能
サイズ:	48.2(W) x 8.8(H) x 13(D) cm
重量:	3.2kg

Lite-Puter